

町指定有形文化財

● 古絵馬



元禄16年（1703）6月22日水抜村猪股氏が小野観音堂に奉納されたもので伊勢詣りが盛んな元禄時代は「お蔭詣り」といって長い日数をかけて念願がかなったお礼に奉納されたものと思われる。よこ26.6cm・たて52.3cm

● 木造聖観世音菩薩立像



高さ195cmの巨大な仏像で天正17年（1589）塩生の館主平田五郎忠照の寄進せるもので髪を高く結び上げ庇立した宝髪の正面に阿弥陀如来の化仏が置かれ耳当（耳かざり）がついているのが特徴である。素彫りであるが温和な面とふくよかな胸は観音の慈愛をよく象徴している。

● 木造地藏菩薩立像



下を見る眼とその形状、鼻筋、口と面相、全体的に前傾姿勢になり下半身の大きさなどより江戸初期の手法と見られる。又この像は納衣に小紋様を配し極彩色で赤、青、金の彩色が施されているのが特徴で当地方の代表的な地藏菩薩である。像高61.2cm

● 木造不動明王立像



松一本彫りの立像で火焰光背を付け瑟瑟座と呼ばれる岩座と華麗な框の台に立っており総髪に辨髪を肩まで垂らし条帛と下半身にまとう裳の曲線が美しい。「元禄9年（1696）奉修復」の銘があり手法より江戸初期の作と思われる。像高91cm